



日本政策金融公庫

無料で後継者のサポートを支援

中小企業、小規模事業者の後継者問題、あるいはコロナ禍での事業継続などに貢献するため、日本政策金融公庫は「事業承継マッチング支援」について全国規模で取り組んでいる。

同支援は、「事業を譲り渡したい」側と、「事業を譲り受けたい」側をつなぐサービスで、同公庫の全国に広がるネットワークを生かし、無料で後継者等のサポートを推進。

譲渡側のメリットとしては①譲渡収入の確保②従業員の雇用維持③取引先の引き継ぎなど。対する譲受側は①創業時や事業拡大時のコスト軽減②経営資源

の承継等がある。

詳しくは、同公庫国民生活事業本部事業承継支援室事業承継支援グループ（電話〇三―三二七〇―一三九四、ファクス〇三―三二七三―八〇一一）、または、同公庫のホームページまで。

QRコードも右でも情報を提供中。



いわきワイナリー

赤ワイン2銘柄金賞



四月にフランス・パリで開かれた「第十六回フェミニナリーズ世界ワインコンクール」で、好間町、いわきワイナリー（今野隆代表）の「フジノユメ」と「マスカット・ベリーA」の赤ワイン二銘柄が金賞に輝いた。

同コンクールは、本場フランスでも屈指の知名度を誇る国際酒類コンペ。女性のワイン専門家が審査するのが特徴で、今年も十四カ国から四千七百八十点が出品された。

受賞した「フジノユメ」は果実味とミネラル感たっぷりの味

とから、比例区での出馬を了承、決断したと話した。

その上で、人口減少、少子化、東京一極集中を解決するため、「国と地方のあり方、選挙制度の改革を進めたい」と強調。また、コロナ禍やロシアによるウクライナ侵攻に触れ、「平和や安心安全の実現、同時に福島復興も果たしていきたい」などと語った。

一方、保守分裂選挙は回避されたものの、比例区での自民党と公明党の選挙協力にあつれきを抱える形となったことについては、「答えられる立場にない。私は自分の票を握りおこしていかなければ」と述べるにとどめ、「支持団体にアプローチしていきたい」と話した。

岩城氏、比例で立候補

今夏参院選 保守分裂は回避

七月二十八日の任期満了に伴う参院選挙で、元職の岩城光英氏（七二）＝いわき市草木台＝



市内で記者会見した岩城氏

は四月二十一日、自民党から比例代表で立候補すると正式表明した。

岩城氏は磐城高校、上智大学法学部を卒業。いわき市長などを経て、平成十年から三期にわたり参議院議員を務め、法務大臣や内閣官房副長官などを歴任、同二十八年に本県選挙区で落選した。

今夏の参院選を巡っては、所属先の自民党が、県医師会副会長の星北斗氏（五八）＝郡山市＝を本県選挙区の公認候補に決

復興を果たしたい

市内で記者会見した岩城氏は、比例区での出馬について、「国政復帰を目指し、無所属でも戦うしかない」と後援会に伝えていたと経緯を説明。安倍元首相から「閣僚になってもらった岩城さんを、無所属で自民党候補と戦わせるわけにはいかな」と伝えられたことを明かし、党への思いは変わっていないこ



受賞二銘柄を手にする、今野代表（右）と娘でマネジャーの四家麻未さん